

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
石原 俊			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
浅川 達人		明治学院大学 社会学部 社会学科	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習	MJGa-120804-0	8人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

調査地に関する事前学習から、参与観察を実施した調査地の祭りに出展するためのオブジェやディスプレイの設計・制作、現地におけるインタビューや参与観察、報告書の執筆まで、ほぼ全面的に学生たちが主体的にこなした。一言でいえば、学生たちはほんとうによくがんばったと思う。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

地方都市の文化遺産をめぐるまちおこしの現状 大分県中津市の寺町地区を中心に

2. 調査の内容／概要：

文化遺産を豊富にもつ中津におけるまちおこしの歴史・現状・課題や、文化遺産を中心としたまちおこしが地域社会にとってもつ意味を、まちおこしの担い手や一般市民へのインタビュー調査によって、さらにはまちおこしの一環として開催されている「寺町とろう祭り」への出展・参加を通じた参与観察調査によって、具体的に検討した。併せて、そうした文化遺産によるまちおこしと中心商店街の活性化とのかかわりについても、若干の検討を試みた。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

中津現地でのインタビュー調査や参与観察調査にあたっては、長年まちおこし活動の中心を担ってきた今吉次郎さん・真由美さん夫妻にお世話になった。他のインタビューは、今吉さん夫妻から雪だるま式で紹介してもらったほか、中心商店街の店主・従業員や利用客など十数名に対しても、15分～30分程度ずつのインタビューを実施した。

4. 主な調査項目：

(1)今吉次郎さんの生活史にとってのまちおこしの意味 (2)今吉さんがたずさわってきた中津における多様なまちおこし活動の展開と課題について (3)中津の歴史遺産とりわけ「蘭学」を通じたまちおこしの現状と課題について (4)中津における中心商店街の歴史・現状・課題について (5)衰退する中心商店街の活性化の課題と可能性について

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

6月下旬に担当教員の石原が中津現地に事前調査におもむき、今吉さん夫妻と8月の調査の事前打合せを行った。7月に入るとインタビュー調査を想定した質問項目を作成するとともに、「寺町とろう祭り」に出展するオブジェやディスプレイの準備を進めた。8月上旬に実施した現地でのインタビュー調査では、今吉さん夫妻、とろう祭りを主催する寺町とろう祭り実行委員会と中津馬場観光協会中津支部の方がた、石原実習班のとろう祭りへの出展場所である本傳寺の方がた、中心商店街で飲食業を営む店主・従業員や飲食店の利用者計十名程度、市内の路上で出会った市民数名にも、短時間のヒアリングを実施した。現地での文献資料調査は、主として中津市立小幡記念図書館にて、行政関係の資料やまちおこし・観光・商店街再開発にかかわる一次資料の収集を実施した。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

6月下旬に担当教員1名が中津市現地に事前調査におもむいた。教員1名と学生8名全員での中津市における現地調査は、2012年8月7日から11日にかけて4泊5日で実施した。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

5日間という限られた現地調査の期間で、上記3に記したようなかなり広範囲の方がたにインタビューを実施することができた。また、インタビュー対象者の協力と履修者の予想以上の努力によって、内容的にもかなり興味深い語りを得られたと考えている。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

本調査で得られたデータは、非構造化インタビューに基づくライフストーリー的なデータと、半構造化インタビューに基づくコミュニティ調査のデータのおおむね中間的な形態であるとみなされるので、初歩的な生活史的アプローチと初歩的なデータ対話型アプローチを併用した分析・解釈法を採用した。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

今吉さん夫妻を中心に、中津市の文化遺産を利用した多様なまちおこし・まちづくり活動が、すでに20年近くさまざまな成果をあげていることが明らかになった。いっぽうで、行政との困難な関係や、文化資本を多く持たない市民の関心の低さなど、さまざまな課題についても知見をえられた。中心商店街は従来型店舗の衰退が著しいが、夜間営業の住民向けの飲食店は味のレベルが相対的に高いため活況を呈していることがわかり、観光客を商店街付近での飲食と市内での宿泊に誘導できれば、まちおこしに有効であろうという推測が得られた。

10. 報告書刊行の予定と概要：

社会調査実習報告書Vol.29の目次は次の通りである。

1.今吉次郎さんと中津和傘 2.今吉次郎さんと多様なまちおこし活動 3.今吉次郎さんと蘭学を通じたまちおこし 4.中津における中心商店街の歴史・現状・課題 5.中津における中心商店街の課題と展望 「安くて美味しい飲食店」の可能性